



島根県立三刀屋高等学校 掛合分校

校長 癸 『ほんりゅう』

【4月号②】令和5年4月10日



■令和5年度を迎えて—始業式にて—

*一部入学式式辞と重複する部分があることをご了解ください。

令和5年度がスタートします。三刀屋高校掛合分校（通称カケコー）は昭和28年、1953年に創立され、今年で70周年を迎えます。人で例えるならば古希（こき）というお祝いの歳となります。皆さんとこれまでのカケコーの歴史を見つめ直し、新たなステージに向かえる一年にしたいと考えています。

そんな今年度のスタートにあたり合言葉をつくりました。「**向き合う。その先に…**」です。「**向き合う**」と聞いて皆さんが頭に浮かぶものは何でしょうか？人？もの？それとも悩みや課題？

「**向き合う**」の意味を辞書で調べてみると「互いに正面を向いて対する」とあります。ことばのニュアンスとしては、あまり見たくないものを見るという感じですかね。つまり「**向き合う**」ためには一定の“覚悟”や“つよさ”が必要といえるということでしょう。からだの“つよさ”ではなくこころの“つよさ”ということです。

私は本校で3年間で過ごしました。ただ本校に勤めるまであまり高校時代の自分に「**向き合う**」ことはしてきませんでした。それは、高校時代の弱い自分に「**向き合う**」ことが怖かったんだと思います。「**向き合う**」には、一定の“覚悟”や“つよさ”が必要なんですよね。つまり自分にとっては“よわい”人間だったと。皆さんはどうか？新年度のこの機会に自分自身に少し「**向き合っ**て」みませんか。「**その先に**」は、きっと新しい世界、可能性が開けていると思います。

でも、正面から「**向き合う**」と疲れるよね。たたら製鉄を見学した際に、日本刀をつくる刀匠の方が言っていました。何でも切れるような“かたさ”ばかり追い求めるとポキッと折れやすくなってしまふ。だから“かたさ”とともに“柔らかさ”も必要ですと。相反するようですが、何事においても、時には柔軟に考えたり、かわしたりする“しなやかさ”も必要ということです。皆さんを応援してくれる誰かは、必ずいます。“よわい”自分をみせることができるのも一つの“つよさ”ですよ。

2年生はあと2年間、3年生は残り1年、具体的な夢の実現に、時間は限られています。しかし、皆さんの可能性は無限大です。皆さんが「**その先に…**」進んでいけるよう、私たち教職員は、努力を惜しみません。

明日の入学式では、新たに24名の仲間が加わります。彼らが不安なく高校生活をスタートできるよう、先輩として温かく導いてあげてください。

生徒69名と、我々教職員、そして保護者・地域が「チームカケコー」となって、これから一年間「チームカケコー」でがんばりましょう。